

ごみ

提案・意見

金属回収箱の残材

2019（令和元年）6.24に投稿したのは（缶、金属、廃品回収箱に小さな釘を入れると樹脂製の箱、隙間から落ち跡に釘やステップルなどが残ります、廃材が落ちるのを防ぐためガムテープが貼ってあるのですが回収箱の撤去後、小さな残材があると）

その後、経過しいまだ回収箱に残材が残ります。

ヤクルトの蓋や仏壇で使用するキャンドル（ローソク）はアルミ製です。回収業者の運転で軽い蓋やキャンドルが飛び散る恐れがあります、飛び散らないように運んで下さいね。

委託業者のみなさんをお願いします。

伊勢市から回収費用をもらうというより伊勢市に住んで伊勢市で飯を食べているからにはきれいにする気はありませんか。

要望）回収箱撤去後、残材が落ちていないか確認し、落ちていれば掃除をしてください。

回答

先回ご要望いただいた後も、回収後の残存があるとのことで、ご迷惑をおかけしております。

廃品回収箱（缶・金属類回収容器等）につきましては、あらためて、適切に維持管理し、回収時の取り残しのないように努めてまいりますので、ご理解賜りますよう、よろしく申し上げます。

担当課

清掃課

（2020年1月回答） [1/14～1/17]

防災

提案・意見

首都直下地震後（市の対策）

首都直下地震後10年以内に東南地震が起きたらあとに政府が機能していない場合市として万全に対策はできていますよね

回答

市では、「伊勢市地域防災計画」及び南海トラフ地震の対策として「伊勢市南海トラフ地震防災対策推進計画」を定め、災害対応に取り組んでいます。
また、南海トラフ地震の発災時には津波の襲来が想定されることから、沿岸部を中心に命を守る対策として、津波避難施設の整備を進めてきました。
地震対策には自助、共助が重要であることから地域や学校、企業などを対象に防災講習等を実施し、防災意識の啓発を進めております。

担当課

危機管理課

（2020年1月回答）〔1/14～1/17〕

防災

提案・意見

首都直下地震後（市議会の対策）

市議会に聞きます。首都直下地震後に10年以内に東南地震が起きたらあとに政府が機能していない場合に市議会として万全に対策はできていますよね

回答

南海トラフ地震が発生した場合、この地域は大きな被害を受けると想定されています。

伊勢市議会では、伊勢市議会業務継続計画（議会BCP）を策定し、地震や風水害等の大規模災害発生時に伊勢市議会災害対策会議を設置し、伊勢市災害対策本部と連携して、被災者の救援及び市の災害復旧のために、非常の事態に即応した役割を果たすこと、また多様な市民ニーズに対応できるよう議会機能を維持する等、大規模災害に対応していくこととしております。

二元代表制の下、市議会の求められる役割を果たすとともに、今後も市民に開かれた信頼される議会として、努力を重ねてまいりますので、よろしくお願いいたします。

担当課

議会事務局

（2020年1月回答）〔1/14～1/17〕

健康

提案・意見

伊勢病院の健康診断の料金

伊勢病院の健康診断ですが、他とくらべて料金が低い。被保険者及び配偶者においても、他は5000円程度なのに、伊勢病院は1万円近く、または1万少し出るぐらいいたします。
料金をもう少し考えて下さい。

回答

健康保険組合に加入されている被保険者及びその配偶者に対する健診につきまして、まず各健診機関によって提供可能な検査項目が異なっております。その上で個々の健診機関と健康保険組合との間で、健診コース内容や受診時のルール、料金等を取り決め、契約しております。
また、受診者様に選択いただきます健診コース及びオプション検査によっても窓口での負担金額が異なってまいります。
受診者様に少しでもお気軽に健診をご受診いただけますよう今後も取り組んでまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
このことにつきまして、ご不明な点がございましたら、健診センターまでご連絡をいただけましたら、加入されている健康保険組合や健診コース等、詳細な状況をお聞きして回答を差し上げます。

担当課

市立伊勢総合病院 健診センター室
(2020年1月回答) [1/14~1/17]

福祉

提案・意見

実の親からの、虐待。

いま、ひきこもり・研修会、申し込もうとしたら、いっぱい、でした！
行政は、本気で、精神的虐待、ひきこもりを、支援する気は、在るのですか？
大・疑問です。
私“たち”は、ネットカフェに、寝泊まりしています。

回答

ご意見をいただきました、ひきこもりの研修会の募集につきまして、詳細が分かりませんが、ひきこもりについて、本市といたしましては、現在、伊勢市生活サポートセンターあゆみ（福祉健康センター内 1階）が本人・家族の相談に対応し、内容を丁寧に聞き取りながら福祉のさまざまな分野の機関と連携し、必要な支援につなげています。また、誰でも気軽に参加できる「フリースペースこだま」や家族交流会なども実施し、SOSを自分で発信できない場合でも、決して一人ぼっちにさせない相談支援体制づくりを進めています。

本市といたしましても、各々の生活全般の相談を通じ、地域の一員として、自分らしい生活を住み慣れたところで継続できるよう、さまざまな取り組みを進めてまいりますのでご理解賜りますようお願いいたします。

担当課

福祉総務課

（2020年1月回答）〔1/14～1/17〕

教育

提案・意見

尺貫法について

度量衡単位に日本は尺貫法を用いていた。
1959（昭和34）にメートル法に変更された、それも日本は古来からの尺貫法を簡単に捨ててしまった。
愛知県飛島で外材を積み込むとフィートでせつかく世界で規格されたメートル表示ではないので、物を観て初めて大きさが判断できる。
尺を今だ使用しているのは大工、墓石、スーパーの冷蔵庫は尺の表示があり家を建てるときはやはり坪の計算に使い道があります。
故、永六輔氏が尺貫法を使用しようとの意味が今の年令になり判ったようです。
質問）暦は西暦、和暦、使用しています。mと尺を併用して学校で教えるべきです。伊勢市はどう考えますか。

回答

小学校算数の「長さの単位」について、ご意見をいただきありがとうございます。
小学校2年生、3年生の算数では、身の回りの物の特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりする学習を行っています。
学習指導要領で扱っている単位は主にメートル法ですが、現在使用している3年生の教科書では、「昔の長さの単位」で「里」を記載し、日本古来の長さの単位を紹介しています。また、5年生、6年生の家庭の教科書にもお米の量を示す「合」も記載されています。
日本では、窓の大きさや畳の大きさなど尺や坪等が使用されている場合が多く、子どもたちにとっても尺貫法は身近なものであります。
御意見をいただきましたこのことにつきましては、各学校において、各教科書で記載されている時期やその他の尺貫法に触れる時期に適切に指導しているものと考えておりますので、本市の教育に対しましてご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

担当課

学校教育課

（2020年1月回答）〔1/14～1/17〕

道路・河川

提案・意見

ラウンドアバウトの提案

小俣町、伊勢農協小俣支店の前の交差点（新出）ですが、変則的な交差点で小俣から湯田へは左折レーンが狭く直進車は左折車に気を付け右寄りに走行（不慣れだと分からない）

明野から小俣へは交差点手前の左側道からの出入り時は安全確認を十分に行わないと走行が危険である。（譲り合いの運転がないと出入り出来ないくらい）

湯田から小俣は1回での信号待ちで出れない2回待ちもあるので、黄色信号ではそのまま走行する感じが。（黄色で止まると追突事故も心配）

そこで提案ですが、私はイギリス出張時、四輪車を運転していましたが、イギリスでの交差点はロンドン以外はラウンドアバウトが主流と感じました。走行前にはラウンドアバウト走行の仕方の説明書みたいな物を見ただけですが、普通に走行できました。（信号待ちが無いのは、とてもストレスが無い）

余談ですが、イギリスでも有名なマジックラウンドアバウトと凄く複雑な交差点も何度か走行しましたが、もの凄く怖いです。（走行したくなかったのですが、駅前に行くのにそこを通らないと行けない）

メリット 信号待ちが無い、信号のコストが無い、災害時でも信号停電での影響が無い（以前より、この新出の交差点は信号停電時、走行困難に陥るだろうと思ってました変則複合交差点ゆえ）

デメリット 走行速度が20キロ前後、安全確認を十分に行う、日本では不慣れで事故発生の心配

日本でも、ラウンドアバウトが既に2014年9月から導入されましたが、あまり新設されてないようですが。（不慣れなので事故が心配で？）

小俣町くらいの交通量なら全ての交差点でもラウンドアバウトでも問題ないと思いましたが、まずは新出の交差点が一番メリットが感じられるのではと思います。

この新出の交差点はスムーズな走行や災害時も有効なラウンドアバウトに丁度良い交差点と思い提案させて頂きました。

回答

ご提案いただいた伊勢農協小俣支店の前の交差点については、県道と市道があり、現時点では、改良の予定はございません。

今後、事故発生状況なども勘案したうえで交差点改良の必要性については、道路管理者である県・市・警察と協議していきたいと考えております。

ラウンドアバウトにつきましては、改良が必要と認められた場合、検討を行ってまいります。

担当課

監理課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

道路・河川

提案・意見

灯笼の活用状況の質問に対する回答について

「撤去した灯笼は有効活用を図る旨の回答が市民の声の回答として市役所からありましたが、その後の活用方法と進捗状況をお示してください。

<回答>

この度は市民の声にご意見、ご提案いただきありがとうございます。
ご提案いただいた灯笼撤去後の活用については、現在も、国・県・市において、引き続き検討をしております。」

回答になっておりませんが、進捗状況とは、何時 何処で どのような形でどのような内容を検討しているのかを求めているのですが、ご回答ください。伊勢市役所内を検索しても、出ておりませんのでお願いいたします。

回答

ご提案いただいた灯笼撤去後の活用については、現在も、国・県・市において、いつまでに、どのような形で活用するかを含め様々な検討をしており、現時点では、決まっておりません。

担当課

監理課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

道路・河川

提案・意見

新たなとうろうの設置

御幸通りに新たなとうろうを設置してください。
死亡事故以来、とうろうを撤去しましたが、皇學館大学前は電灯がなく真暗で不安です。
女子学生が多いと聞きますよ！治安も悪く、事故も増えると思いますよ。以前は、とうろうの柱に車のライトが反射して、それほど暗くもなかったですよ！
新たな電灯付とうろうを設置したらいかがですか！

回答

今回ご提案のありました御幸通りの道路の照度等に関するご提案につきましては、道路管理者である三重県伊勢建設所総務・管理室 管理課に申し伝えさせていただきます。

担当課

監理課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

道路・河川

提案・意見

あぶない交差点について

旧日赤近くの老人ホームの交差点で、いつも事故が起こっています。子供が通る時など、あぶないので、なんとか考えてください。本当に、あそこの交差点はあぶないです。

回答

ご要望のありました交差点ではありますが、具体的な場所は特定できないものの、老人ホーム付近にある県道大湊宮町停車場線に関しましては、交通量も多く、地元自治会様からも交通安全に関する要望があり、関係機関と現地立会を実施するなど、周辺の安全対策に取り組んでいるところでございます。今後も交通安全対策に取り組んでまいりますのでご理解いただけますようお願い申し上げます。

担当課

交通政策課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

まちづくり

提案・意見

少子化 その3

有滝、村松にトヨタ自動車が工場を造るとの話が過去にあったと思います。有滝、村松の海苔や漁業は利益が上がらず廃業する人がいると聞きます。今となってはよい話であったとも考えられ、若い人がいなくなり地域が衰退する心配もあります。

質問1) 少子化に取り組む伊勢市はトヨタ自動車の進出についてどこまで進んでいたのでしょうか。

質問2) 伊勢市において企業の誘致を進めていただきたい。

回答

回答1) 昭和44年12月から、三重県と伊勢市は村松工業団地（北浜工業団地）への、トヨタ自工誘致活動を開始しました。そして昭和45年4月から三重県と伊勢市は、市内関係各町、農協、漁協等に対して誘致のための説明会を開催しました。

また、同年7月に三重県は、北浜工業団地開発構想試案を公表しました。規模は約370ヘクタールの敷地で、従業員1万人分の住宅用地として大仏山団地（約200ヘクタール）を確保するというものでした。しかし、昭和46年11月に伊勢市は三重県に対して、開発の一時中断を申し入れました。その理由としては、地元の土地提供に対する将来への不安、地元産業への影響、海岸部埋立てによる重化学工業立地による公害の恐れ、神宮を取り巻く環境への影響、賃金高騰による地元企業の雇用難などにより、地元の全面的な支持が得られず断念することになりました。

回答2) 伊勢市内には、分譲可能な工業団地が無いいため、企業の誘致が難しい状況にありますが、宅地建物取引業者と連携して、企業の求める土地を確保するなど、若者の働く場を創出するためにも、企業の誘致と併せて、市内企業の支援について、引き続き注力してまいります。

担当課

商工労政課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

その他

提案・意見

伊勢市役所の電気代等について

質問1) 伊勢市役所の高圧電気契約電力は何kwでしょうか。
質問2) 夏の1ヶ月電気代は400万円、冬の1ヶ月電気代は200万円位かな、公表できましたら教えて下さい。
質問3) 夏の空調温度は28℃、冬は20℃、国あげてPRしていますが伊勢市役所は何度に設定していますか。
質問4) 電力の契約は中部電力以外からも将来に向かって入札する予定はありませんか。
要望) よければ伊勢庁舎の電気代はいせ広報に発表するのも良いでしょう。

回答

(質問1) 本庁舎の契約容量は、391kWです(令和元年12月時点)。
(質問2) 昨年1年間における本庁舎の電気代は、夏が月額約210万円(令和元年8月使用分)、冬が月額約184万円(平成31年1月使用分)です。
(質問3) 夏は室温28度、冬は室温20度を目安として、それぞれの場所の状況に応じて空調の温度設定をしています。
(質問4) コスト削減のため、受電契約の見直しについて現在、検討しているところです。
(要望) 現在のところ、庁舎の電気代を広報いせに掲載する予定はしておりませんので、ご理解ください。

担当課

管財契約課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

その他

提案・意見

かし担保について

(令和元年11月11日投函の「官製談合と談合について」(質問3)の回答で伊勢総合病院雨漏の件で尋ねます。)

伊勢総合病院が新築であるが雨漏になっている。「かし担保」で補修するとの事ですが、池上彰流に素人に判るよう、かみくだいて説明して下さい。
質問)「かし担保」とは何でしょう。

回答

瑕疵(かし)とは、本来備わっているべき品質・性能を有していない状態です。また、担保とは、将来生じる恐れのある不利益を補うことを保証することを表します。

ご質問の新市立伊勢総合病院建設工事における「瑕疵(かし)担保」とは、伊勢市が引渡しを受けた建築物について、本来の品質・性能を有していないことが発覚した場合、施工業者の責任において補修等の実施を保証することを表しています。

担当課

市立伊勢総合病院 経営企画課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

その他

提案・意見

病院統廃合について

厚生労働省が2019（令和元年）9月に病院統廃合に伊勢総合病院が入っていた。2019（平成31）1.7に総額198億円をかけて開院したばかりなのに、市長がショックをかかえ寝込んでいないかと思います。

行政は新規の案件を立ち上げるのは税金でしますが後の事を考えず尻すぼみになるようです。

質問) 厚生労働省の暴走と想われます。伊勢市の対応はどのようにするのでしょうか。

回答

今回、公立・公的病院の「再編・統合」の検討が必要と判断した病院名が厚生労働省により公表されたところでございますが、今回の公表は、2年以上前の平成29年6月時点での実績値をもとに分析されたとのことであります。

伊勢総合病院は、新病院を開院するにあたり、病床数を322床から300床にダウンサイジングするとともに、地域に必要で不足している地域包括ケア病棟及びホスピス病棟を新設したほか、回復期リハビリテーション病棟の更なる充実を図っており、県主催の「伊勢志摩地域医療構想調整会議」においても合意されています。

伊勢総合病院は、今回の厚生労働省が示した「再編・統合」を先立って実践してきたと考えており、令和元年11月5日開催の「伊勢志摩地域医療構想調整会議」におきましても、同様の主張を致しております。三重県におきましても地域の実情ををふまえるとともに、地域医療構想調整会議の合意結果を最大限尊重することを国に対して要望しています。

また新病院開院後の患者数、病床稼働率は大きく増加しています。今後も市民の方々が医療提供の体制に不安をもつことがないよう、職員一同、精一杯取り組んで参ります。

担当課

市立伊勢総合病院 医療事務課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]

その他

提案・意見

有滝農業公園の側溝

有滝農業公園の側溝が葉っぱまみれでたまってる

回答

現地を確認し、維持管理をしていただいている地元自治会へお願いをして対応していただきました。季節や強風の場合など、側溝に葉がたまる可能性があります。地元で適宜清掃をしていただいておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

農林水産課

(2020年1月回答) [1/14~1/17]